

事務事業名	農業用水路等長寿命化・防災減災事業(塩田ダム)	所属部	農林振興部	所属課	農林土木課	
総合計画体系	政策名	〈V〉挑戦し活力を産みだすまち〈産業〉		所属G	農林道G	
	施策名	(36)農業の振興		担当者名	今岡 久	
	目的	市内の農家	意図	安全・安心な農畜産物を生産するとともに、農業所得が向上する。	電話番号	0854-40-1053
	基本事業名	(108)農業基盤の保全		予算科目	会計 款 大事業 大事業 0:1 3:0 0:2 大事業名 土地改良事業 項 目 中事業 中事業 0:5 5:5 2:1 中事業名 農業用水路等長寿命化・防災減災事業	
目的	担い手農家・担い手以外農家	意図	農業の生産性を維持・向上できるようにする。	(内線)	2401	

1 現状把握【DO】

(1) 事業概要

① 事業期間
<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (年度～)
<input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (H30 年度～ R元 年度)
② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)
農業水利施設の機能を将来にわたって安定的に発揮させるための長寿命化対策や防災減災対策を実施するとともに、関連するソフト対策を行う。 塩田ダムの機能診断を行い機能保全計画を策定し長寿命化対策(監視設備更新)を行う。
補助率 ソフト事業 国100% ハード事業(長寿命化対策) 国55%、県15%、市30% ハードは水利施設等保全高度化事業より移行分。

(2) 事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動					
	30年度実績(30年度に行った主な活動) 機械及び電気設備の機能保全計画策定業務委託	元年度計画(元年度に計画する主な活動) ・ダム本体の機能保全計画策定業務委託 ・監視設備更新				
	② 活動指標	単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	元年度(計画)
ア	事業費	千円			10,072	30,060
イ						
ウ						
エ						

(3) 事務事業の目的・指標

目的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標	単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	元年度(計画)	
	農業従事者	ア	関係農家戸数	戸			110	110
		イ						
		ウ						
② 意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標	単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	元年度(計画)		
機能保全計画を策定し施設の長寿命化を図ることで、農作物の安定した栽培に寄与する。	ア	機能保全計画(機械・電気設備)	件			1		
	イ	機能保全計画(ダム本体)	件				1	
	ウ	監視設備更新	基				1	

(4) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳(30年度決算)	② コストの推移	単位	28年度(決算)	29年度(決算)	30年度(決算)	元年度(計画)
機械及び電気設備の機能保全計画策定 委託料:10,072千円	事業費内訳	国庫支出金	千円			0
		県支出金	千円			24,000
		地方債	千円			5,700
		その他	千円			0
		一般財源	千円			72
	事業費計(A)	千円			10,072	30,060
	人件費	正規職員従事人数	人			1
	延べ業務時間	時間			100	
	人件費計(B)	千円			433	
	トータルコスト(A)+(B)	千円			10,505	

(5) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
農業生産活動の基盤となる農業水利施設が将来にわたってその機能を安定的に発揮していくため長寿命化対策や防災減災対策を実施する。	特になし。	農業水利施設の機能を保つことで、安心・安定した農業により耕作放棄を防げる。

事務事業名	農業用水路等長寿命化・防災減災事業(塩田ダム)	所属部	農林振興部	所属課	農林土木課
-------	-------------------------	-----	-------	-----	-------

2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？		見直し余地があると理由	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている *余地がある場合⇒		
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して達成する目的か？			
B 有効性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である *余地がある場合⇒		
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加する必要はないか？意図を限定・拡充する必要はないか？			
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である *余地がある場合⇒		
C 効率性	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方はないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？		理由	
	<input type="checkbox"/> 向上余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない		施設の長寿命化を図り、恒常的な維持管理を行う事業であるため、向上の余地はない。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？			
D 公平性	<input type="checkbox"/> 影響無	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有	理由	
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？			
	<input type="checkbox"/> 他に手段がある *ある場合⇒ <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない	(具体的な手段や類似事業名) 国100%補助事業では他に類似事業がなく、本事業のみである。		理由
<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない				
C 効率性	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)		理由	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない		国100%補助のため余地がない。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？			
<input type="checkbox"/> 削減余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	現場管理を考慮した場合、削減の余地はない。		
D 公平性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？		理由	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である		農業水利施設の機能を維持することで、下流域の農業従事者に安心・安定した農業環境を提供できる。
	① 1次評価者としての評価結果			
評価 の 総 括	A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	適正な予算執行に努めた。
	B 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
	C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり		

3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	② 改革・改善による期待成果																			
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table> <p>廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。</p>		コスト				削減	維持	増加	成果	向上			維持	●	×	低下		×	×
		コスト																		
	削減	維持	増加																	
成果	向上																			
	維持	●	×																	
低下		×	×																	
	今後も同様に適正な執行に努める。																			